

## 新型コロナウイルスに便乗した消費者トラブルが続出！ —「なりすまし」「オレオレ詐欺」にご注意ください—

問合せ 松伏町消費生活センター（環境経済課内） ☎991-1854

全国の消費生活センターでは新型コロナウイルスに関連した消費者トラブルの相談が急増しています。その中には、行政機関などを名乗って個人情報や口座情報を聞き出す「なりすまし」や、親族を名乗ってお金を搾取しようとする「オレオレ詐欺」があります。



不審な電話には応じず、不安な時は消費生活センターにお電話ください。  
（局番なしの188 又は 991-1854）

### 【なりすまし 相談事例】

- 町の職員を名乗り「皆様に助成金を配布していません。振込先の口座番号を教えてください」という電話が来た
- 信用金庫の職員を名乗り電話で「新型コロナ関連で確認しなければならない。これからキャッシュカードを引き取りに伺います」と言われた
- 携帯電話会社名で「助成金を送る」というメールが届いた。

### 【オレオレ詐欺 相談事例】

- 息子を名乗り「新型コロナに感染した上司に『借りたお金をすぐ返すよう』言われた」と電話があった。その後上司と名乗る人から「息子に貸した100万円を今すぐ返してほしい」と催促の電話があった。約束した場所にきた若い男性に不審に思いついながらも現金を渡してしまった。

### 【消費生活センターからのアドバイス】

- 電話やメールなどで「助成金があるので個人情報や口座情報を教えてほしい」と言われたら、詐欺の疑いがあります。こうした電話はすぐ切り、メールは無視してください。
- 他人には絶対に現金やキャッシュカードを渡したり、暗証番号を教えるはいけません。
- 今後新たな手口の勧誘が行われる可能性があります。不審に思ったり被害を受けた場合は、すぐに消費生活センターにご相談ください。

## 町長コラム 新型コロナウイルスと世界文化の統一



鈴木 勝

学生時代に、日本文化は高温多湿の環境を利用した発酵(カビ)の文化であると教わったことがある。その代表的なものは、味噌、日本酒、納豆などである。また、水虫も発酵の文化に属するというのには驚いた。挨拶に関して、日本ではよく「お辞儀」をする。これは、礼儀やねぎらいの気持ちが多く含まれている。

一方、欧米ではキスやハグ、握手など、親愛やフレンドリーを表すことを目的に身体を触れ合わせる挨拶が一般的である。

この挨拶文化の違いが、新型コロナウイルス感染拡大の被害に大きく影響したものと考える。

新型コロナウイルスが徐々に猛威を奮いだした

頃、アメリカの地でマスクをした日本人が殴打される事件が起こったが、これもまた文化の違いであり、アメリカではマスクをするのは犯罪者という認識があるからである。

4月に入ると、アメリカでは感染者数が世界最大となり、マスクを付ける人が圧倒的に増え始め、身体を触れ合う挨拶が消えていった。

新型コロナウイルスの終息後、欧米での挨拶文化は復活するのであろうか。長期化してしまうと、日本のような挨拶文化が根付き、人類が持続可能な文化として認められ、日本の挨拶文化が全世界を席卷するかもしれない。